

岩手県の 土地改良



CONTENTS

- 全国土地改良大会 島根県で開催2
- 統合後の支援継続を要請3
- 農業農村整備事業をPR4
- 各地の秋まつりで水土里ネットがPR5
- 土地改良相談Q&A6
- 水土里ネットいわて 今後の行事予定6

2009(11月号)No.547

発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3280

編集発行人/川邊 賢治 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

大根洗い(花巻市) 平成21年度農村景観写真コンクール 優秀賞受賞作品



全国土地改良大会 島根県で開催

▶ 「国引きのロマン、水・土・里の想い。
神話の郷から今、未来へ。」をテーマに



第32回全国土地改良大会島根大会（主催：全国水土里ネット、水土里ネット島根）は10月28日～30日にかけて、島根県松江市にある島根県産業交流会館「くにびきメッセ」を主会場に県内外の関係者約3000人が参加して開催され農業生産を支える農地や農業用水路などを維持・保全・整備する農業農村整備の重要性を広く国民にアピールした。

オープニングの歓迎アトラクションでは、開催県である島根県出雲市出身でオペラ歌手の錦織 健さんが日本古謡の「さ

くら さくら」やオペラ「トゥーランドット」から「誰も寝てはならぬ」を熱唱。また、島根県を代表する郷土芸能の「石見神楽」が勇壮にステージで繰り広げられ参加者達を魅了した。



【島根の郷土芸能「石見神楽」】

大会式典では、水土里ネット島根の宇津徹男副会長が開会を

宣言。開催県挨拶に立った水土里ネット島根青木幹雄会長は「地域資源の維持管理の自主組織である水土里ネットの役割を、国民全体の共有認識とするためご参集の皆さまとともに声を大にして訴えていきたい」と述べた。

また、主催者である全国水土里ネット野中広務会長は「我が国の食料自給率を高めるには、水田農業の再生と主要穀物の国内自給を進めることが不可欠。そのため、水田の汎用化と水利施設の維持更新を確実に進め、国土保全や水源涵養などの多面的機能を有する農村地域の活性化を図り、持続可能な国土を取り戻していく真剣な取り組みが必要」と挨拶した。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全土連会長表彰47名を表彰。本県からは、大臣表彰に照井土地改良区 阿部克郎理事長、農村振興局長表彰に本会副会長で江刺

猿ヶ石土地改良区 高橋三一理事長、全土連会長表彰に久慈市土地改良区 砂子友男理事長がそれぞれ表彰を受けた。

基調報告で、農林水産省農村振興局齋藤晴美次長が「基盤整備と地域の力による元気な農業・農村の構築」、農産物のブランド化や自然と共生する水田づくりを、進めることで都市と

の交流が活発化し、農村振興につながった事例など「活力ある農業農村に向けた力強い取り組み」などについて述べ、その後、大会宣言が島根大学の学生二人により力強く読み上げられ満場の拍手で採択された。

このあと、大会旗が水土里ネット島根の青木会長から次期開催県の水土里ネット長崎宮本

会長に引き継がれた。宮本会長は「来年10月、神々はここ島根に集まり不在であるが、県民総出で、皆様のお越しをお待ちしております」と挨拶した。

その後、参加者らは、30日にかけて事業視察を行い、土地改良事業に対する見識を深めた。

《本県の受賞者》

○農林水産大臣表彰



照井土地改良区
理事長 阿部 克郎 氏

○農村振興局長表彰



江刺猿ヶ石土地改良区
理事長 高橋 三一 氏

○全土連会長表彰



久慈市土地改良区
理事長 砂子 友男 氏

統 合 後 の 支 援 継 続 を 要 請

▶一関市の5土地改良区が市長を訪問

現在統合を進めている一関の東山町、大東町、千厩、室根、川崎の5土地改良区の理事長は11月4日、一関市役所を訪問。勝部修市長に対し土地改良区統合後の財政支援について要望書を手渡した。

一関市は、行財政改革の一環として本年度で、土地改良区に対する補助を打ち切ることとしてい

るが、5土地改良区は、新体制が軌道に乗るまでの平成24年度まで支援継続を求めた。

これに対し勝部市長は、「担当部署の説明を聞いて対応したい」と回答した。

5土地改良区は来年11月の統合に向け本年12月12日に予備調印を締結する予定である。

農業農村整備事業をPR

▶ いわて環境王国展2009に『いわての農村コーナー』を出展

水土里ネットいわてでは、県農林水産部農村計画課、同農村建設課、県農地・水・環境保全向上対策地域協議会とともに、11月7日、8日の2日間、いわて県民情報センター(アイーナ)で開催された「いわて環境王国展2009」に「いわての農村コーナー」を出展した。農業農村が持つ多面的機能や環境に配慮した農業農村整備事業、農地・水・環境保全対策などへの関心を深めてもらおうと、農業農村が持つ様々な役割についてのパネル展示や農業農村整備に関するクイズや紙芝居などを行った。また、水をきれいにする微生物の観察や頭首工などの農業水利施設が描かれた輪投げ、絵画コンクール、写真コンクールの入賞作品の展示など盛りだくさんの内容で開催期間中、親子連れなど約700人が訪れた。



【何が見えるかな?】



来場者は、輪投げに一喜一憂したり、クイズの回答を探してパネルとにらめっこしたり、微生物を顕微鏡で覗いたりし、農業農村に対する関心を深めていた。

環境王国展初日の11時から、4Fアイーナスタジオにおいて「平成21年度小中学生による美しく豊かな村づくり絵画コンクール」と

「農村景観写真コンクール」の表彰式が行われ、入賞者に館澤宏邦水土里ネットいわ

て会長から賞状と副賞が授与された。

表彰式が終わると、受賞者は展示コーナーに移動し自分の作品をバックに記念撮影を行うなど喜びをあらわしていた。

※入賞作品は本会ホームページに掲載しております。



【全問正解なるか?】

各地の秋まつりで 水土里ネットがPR

▶ 農業用施設の多面的機能をパネルやクイズで紹介

紫波町

水土里ネット山王海（理事長：高橋公一）は、10月17日から18日の2日間、サン・ビレッジ紫波において開催された「第26回紫波町産業まつり」に山王海ダム等の農業用施設の役割と水土里ネットの活動内容を紹介したパネル等を出展した。

2日間で約700人もの方々が水土里ネット山王海のブースを訪れ、山王海ダムにまつわる資料やこれまでに開催した「親子ふれあい研修」等の写真を見学した。

また、来場者にはその場で写真をプレゼントしたり景品を配るなどしていた。



花巻市

花巻市に受益を持つ4水土里ネット（豊沢川・猿ヶ石北部・石鳥谷東部・大迫町）が、10月24日～25日にかけて、JA花巻主催の農業まつりに「水土里ネットフェスタ」を出展し、2日間で約800人が訪れた。

金魚すくいや水土里ネットクイズなどのコーナーでは、子供たちの人気を呼んでいた。また農業用水利施設の多面的機能や農業用水水源地域の保全が学べるパネル・ジオラマ展示コーナーでは、スタッフが来場者に対し親切に説明していた。

昨年度に引き続き、好評の「特製エコバッグ」がもらえるクイズコーナーにも来場者が殺到し、

あっという間に用意していた1,000個のバッグは無くなった。来場者は「すごく勉強になる企画なので、来年も是非参加したい」と話していた。



北上市

11月7日～8日にかけて、北上市流通センターの北上統括支店において開催された、「JAいわて花巻 北上地域農業祭」で水土里ネット岩手中部（理事長：菊池勲）が水土里ネットコーナーを設け、農業用施設に関する紙芝居の上演や、先人たちの水不足の苦勞とそれを解消するための土地改良事業の役割と功績を展示したパネルで来場者たちに解りやすく伝えた。

また「輪投げ」コーナーでは子供たちが集まり、ブースを賑わせていた。



